

研修目的

腎臓疾患患者の総合診療を行う。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

腎臓疾患の総合診療能力を修得できる。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・目の前の患者を責任をもって診療できる。

B. 資質・能力

・腎臓疾患患者が呈する病態に対して問診、身体診察、病歴調査、検査オーダー、アセスメント、治療を行う。

C. 基本的診療業務

・指導医とともに腎臓疾患の総合診療を行う。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・退院後の診療および生きがい支援。

B. 資質・能力

・学会発表、論文作成等。

C. 基本的診療業務

・指導医とともに専門的な診療（血液透析、腹膜透析、アフェレーシス、腎生検などの技術を含む）を行える。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

指導医と研修を振り返るとともに将来の展望について話合う。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30～9:00 朝カンファ 9:15～手術		
火	8:30～9:00 朝カンファ 9:15～手術・腎生検		
水	8:30～9:00 朝カンファ 10:00～腎生検		
木	8:30～9:00 朝カンファ	15:00～腎病理カンファ	
金	8:30～9:00 朝カンファ 9:15～手術		

指導責任者および指導医

指導責任者：森 建文

指導医：矢花郁子、石山勝也、秋山健一、橋本英明、伊藤大樹、鎌田綾佳、遠藤明里、田島亮、松本啓而、結城翼、石川里紗、佐藤峻行、沼畑貴生

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションなどの指導を行う。